

全国高校選抜大会

全国高校選抜大会は29日、各地で行われ、ハンドボール女子決勝に進んだ浦添は大分に21-26で敗れ、準優勝だった。前日にエースが故障した浦添は9-15決勝に進み、中村(島根)

に8-9で敗れて8強だった。50級の與那嶺壮(北部農林)は3回戦で敗れた。

ハンドボール
(神戸総合運動公園体育館)
▽女子決勝
大分 26
浦添 21
(大分)

レスリング
(新潟市体育館)
徳比嘉惜敗8強

戸学院光星 秒
▽60級3回戦
徳比嘉仁 6-2 上由 尋也
(南風原) (熊本・玉名)

▽50級3回戦
荒道 豊樹 7-0 與那嶺 壮
(青森・八戸) 28 (北部農林)

▽同準々決勝
中村 勇士 9-8 徳比嘉仁
(島根・隠岐島前) (南風原)

浦添、ハンド準V

ハイライト

後半猛追及ばず 夏リベンジ誓う

浦添はエース伊波優里が前日の準決勝で右足首を痛め、ほぼ出場できず。たった1日では攻撃のバランスを整えることができず、無念の準優勝となった。

九州大会決勝の雪辱を期して挑んでくる大分に、前半に連続失点を喫してしまった。さらに後半開始直後に4連続失点で一時10点差に開いた。だが「エースの気持ちを中心に置いて、自分が引く張ると強気で攻めた」と比嘉清香主将がチーム最多7得点と奮闘するなど、堅守速攻で追いついた。それでも前半のピハイインドを覆せず、佐平牧生監督は「これも試合です。しょうがない」と切り替える。準Vの結果に比嘉主将は「悔しいけど、支えてくれた人たちに恩返しできた」とし「また全国でリベンジしたい」と夏に懸けた。

女子決勝 大分-浦添 後半19分 浦添高・神谷リリー(左)がシュートを決め14点目を挙げる(エムアイプランニング撮影)



準優勝となった浦添高の選手ら (エムアイプランニング撮影)